

消費生活センターにご相談ください **消費豆知識** 137

子どもに持たせるスマホにはペアレンタルコントロール機能をオンラインゲームの高額課金に注意！

事例

中学生の息子は、母親の私名義で契約し、息子を利用者登録したスマホを使っている。このスマホの通信料金は私がクレジットカードで支払っているが、キャリア決済料を含めた料金が高額なことに気付き、明細を調べてみると、この半年で約10万円がオンラインゲームのアプリで使われていたことがわかった。今は、息子のスマホにフィルタリングをかけ、キャリア決済の上限額を引き下げたが、そのように予防ができることを知らなかった。

- ・フィルタリング等の設定や利用のルールを家族で決め、子どもに安全に使用させるために、ネットの利用環境を整えましょう。
- ・子どもに持たせるスマホは、**ペアレンタルコントロール**の機能を利用して保護者がアカウントを管理しましょう。また、保護者のアカウントに決済完了メールが届くよう設定し、メールや料金明細を日頃からチェックしましょう。

・保護者の同意のない未成年者契約は民法上取り消せますが、保護者アカウントでログインした端末機器で課金した場合、アカウント所有者である保護者が決済を行ったとみなされる場合があります。

*ペアレンタルコントロール：子どもが使用するスマートフォンやゲーム機など情報通信機器の機能を保護者が管理・制限する機能。

▼相談日時：月～金曜日（祝日・年末年始を除く）

午前9時～正午、午後1時～4時

▼相談場所：上三川町消費生活センター（役場1階 地域生活課内）

▼相談専用電話：☎02855(5)6(9)1533

まずは、お電話を。消費者ホットライン1888でもつながります。

上三川ごぼれ話 第27話「古墳のはなし」

前号では、埴輪が祭祀目的で古墳に並べられたという話をしました。古墳とは、古墳時代に土を盛って作られたお墓のことを指しますが、そもそも古墳はなぜ作られたのでしょうか？

弥生時代以降、権力による支配体系を持つクニが誕生し、王はその強大な力を誇示するために自身の墳墓を築きました。そして3世紀の中頃、卑弥呼の墓ともいわれる全長約280mの箸墓古墳（奈良県桜井市）が築かれます。

この古墳は、いわゆる前方後円墳の初期であり、以降の約400年間で古墳時代と呼び、巨大な古墳がたくさん造られました。王たちは、権力の象徴として古墳を築き、そこに埴輪を並べたのです。

古墳時代後半になると、突如として巨大な前方後円墳は姿を消します。理由は諸説ありますが、大和王権による規制や「大きさ＝権力」という価値観が変化していったことによると考えられます。そして、大化の改新以後、薄葬令の発布や仏教の火葬文化の伝来により古墳はその姿を消しました。

今月から栃木県立博物館にて古墳の祭祀にまつわる企画展が開催されます。上三川町出土の埴輪も展示されますので、この機会にご覧ください。

※企画展「死者と生者の古墳時代～下野における6・7世紀の葬送儀礼～」の詳細は、栃木県立博物館 ☎028(6)334(1)311へ直接お問い合わせください。

▼会期：12月14日（土）～2月2日（日）



上空から見た箸墓古墳（出典：国土地理院ウェブサイト）

▼問い合わせ先：生涯学習課 文化係 ☎02855(5)6(9)3510